

進路指導部だより

令和4年度

第7号

今年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様には日々の教育活動におきまして、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。長く続いてきた新型コロナウイルス感染症対策による規制も少しずつ緩和され、今年度の高等部の第3期現場実習は、実習の期間を短縮したり、実習時期を延期したりすることなく実施することができました。高等部3年生については、社会人としての門出の日が間近となってきています。一人一人の笑顔あふれる春が迎えられることを願っています。

～B 部門小学部の具体的な取り組みとつながる力～

<1年生の取り組み>



「バスカードかかり」では、教師と一緒に、昇降口のカードケースにカードを提出します。カードを入れる手提げ袋を歩行中に落とさないよう、しっかりと持って取り組んでいます。



～つながる力～

係活動は、クラスの一員として継続的に仕事を行います。自分の役割を意識し、最後まで仕事をやり遂げることで、責任感と達成感を育むことにつながっていきます。

<2年生の取り組み>

学校のあいさつ運動にも積極的に参加しています。「おはようございます」「ってきます」などの日常的な挨拶が元気にできるように意識して毎日取り組んでいます。



～つながる力～

挨拶や依頼を行うことは、集団生活への参加に必要な力です。身近な社会とのかかわりについて関心を深めたり、自立的な生活をしたりすることにつながります。

<3年生の取り組み>



給食の準備・後片付けのなかで、お箸セットを給食袋から出す、エプロンを着る、脱ぐなど、自分でできる部分は自分で行うことができるよう毎日継続して取り組んでいます。



～つながる力～

自分でできることを自分でやる経験は、自立した生活への一歩です。小さなことでも自分でできた、という経験の積み重ねが自信につながり、もっとやってみたいという意欲につながります。

<4年生の取り組み>



引いてある線や枠を見ながら、ていねいに紙をハサミで切っています。切る部分がずれないように、意識しながら、集中して取り組んでいます。

調べ学習のまとめの際には、自分達で見出しのカードを切って作っています。



～つながる力～

学習や生活の中で、はさみ、セロハンテープなどの身近な道具を使う経験を重ねると、より上手に、様々な道具が使えるようになっていきます。道具を安全に上手に使えるようになると、好きなものを作る余暇活動や、道具を使った仕事をする力につながります。

<5年生の取り組み>



5年生から、委員会活動が始まります。保健委員会、または整備委員会に入り、小学部全体のために活動しています。整備委員会では、各教室のごみ袋などを補充したり、廊下の掃除を分担して行ったりしています。



～つながる力～

みんなのために活動することを通して、相手に理解してもらえるように分かりやすく伝えたり、相手から感謝されたりするなどの体験を積み重ねます。その経験が、職場や集団の中で自分の役割を主体的に果たす力につながります。

<6年生の取り組み>

日常生活の中で、係活動に取り組んでいます。数人で同じ係を担当したり、一人で担当したりしています。

仕事を分担したり、連携したり、お休みした友達の係はどうしたらよいかを相談したりしながら取り組んでいます。



～つながる力～

係の仕事を通して、友達と協力したり、自分から進んで取り組んだりする体験を積み重ねます。将来、社会に出て仕事をする上で、周囲の人と力を合わせたり、相手と調整したりする力につながります。

活動の中で、最初は難しいと感じていたことであっても、教師の支援を受けながら繰り返しチャレンジしていくことで、できるようになることがたくさんあります。あきらめずに取り組んだことで、「できた！」という気持ちが自信になります。また、「ありがとう」「がんばっているね」などの称賛や励ましの言葉が、意欲となって、次の課題へ向かう原動力になっています。日々の積み重ねが、将来の進路選択につながる力になっていきます。

☆自立に向けてチャレンジし、ステップアップする機会は、 日常のありとあらゆる場面にあふれています！

2月のB部門小学部の進路懇談では、『進路選択に向けて 日々の取り組みの先に』というテーマについてお話がありました。進路の選択肢や選択によって変化する生活のイメージ、進路選択に向けて必要な力について参考にしていただければと思います。今後も、家庭と学校で協力して取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。